

美しい

●2 平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波災害に伴う 県土整備部の対応状況等

- ●8 いわて花巻空港平行誘導路、旅客ターミナル増築が完成
- ●9 御所湖広域公園「東日本大震災復興記念植樹及び 手をつなごうタイムカプセル」のイベントを実施
- ●10 "お得"ないわて花巻-名古屋小牧アクセスキャンペーンのお知らせ

県土づくりNEWS



岩手県 県土整備部 手づくり広報誌第84号 平成23年7月29日発行 編集 県土整備企画室



黄金の國、いわて。

「きよひらくん」 「平泉の文化遺産」の理念普及 のために実施している紙芝居「みんな なかよしひらいずみ」のキャラクター

東日本大震災から4ヶ月!!

目次

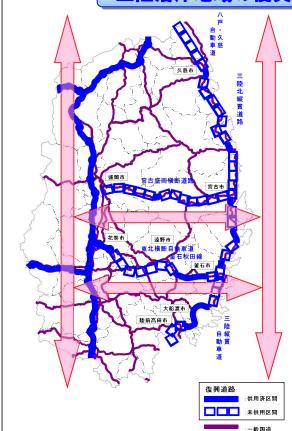
~「復興道路」ルートの具体化へ ~

平成 23 年3月 11 日に発生した東日本大震災(平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波災害)から4ヶ月余りが経過しました。

県では、三陸縦貫自動車道などの三陸沿岸地域の縦貫軸と、東北横断自動車道釜石秋田線などの内陸と三陸沿岸地域を結ぶ横断軸の高規格幹線道路等を「復興道路」として位置づけ、早期に整備することを国に対し強く要望して来ましたが、この度、国土交通省から三陸縦貫自動車道等の三陸沿岸地域及び東北横断自動車道釜石秋田線等の未事業化区間について、早期にルートの具体化を図る、との方針が示されました。

今後、概ねのルート及びIC の位置を提示した上で、8月中を目途にルートを確定する、とのことです。

三陸沿岸地域の復興は『復興道路』の整備から!!



◆三陸沿岸の高規格幹線道路等

県名	計画 (km)	供用		供用·事業中		備考
		延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)	
青森県	20.0	7.2	36.0%	17.3	86.5%	八戸·久慈自動車道
	30.0	3.2	10.7%	10.6	35.3%	八戸・久慈自動車道
	90.0	6.2	6.9%	14.9	16.6%	三陸北縱貫道路
岩手県	103.0	37.9	36.8%	64.0	62.1%	三陸縦貫自動車道
	223.0	47.3	21.2%	89.5	40.1%	岩手県 計
宮城県	121.0	74.4	61.5%	103.8	85.8%	三陸縦貫自動車道
合計	364.0	128.9	35.4%	210.6	57.8%	

◆東北横断自動車道釜石秋田線(釜石自動車道)

県名	計画	供	用	供用·事業中	
宗 石	(km)	延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
岩手県	79.3	29.8	37.6%	62.5	78.8%
合計	79.3	29.8	37.6%	62.5	78.8%

◆宮古盛岡横断道路

県名	計画	供用		供用·事業中	
宗 在	(km)	延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
岩手県	100.0	1.4	1.4%	18.0	18.0%
合計	100.0	1.4	1.4%	18.0	18.0%

三陸沿岸の縦貫軸、内陸と三陸沿岸を結ぶ横断軸を 『復興道路』として位置づけ、集中的投資による 3年間での重点的な整備、5年以内の全線開通を!!



平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波災害に伴う県土整備部の対応状況等

県土整備企画室

1 国への要望等

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分頃に発生した東日本大震災津波(平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波災害)から 4ヶ月余りが経ちました。

県では、東日本大震災津波からの復興に向けて、平成 23 年 6 月 29 日 (水)に大畠国 土交通大臣に対して、復興道路の早期完成や湾口防波堤等の早期復旧・整備などの「災害 に強い交通ネットワークの構築に関する緊急要望」を行ったほか、平成 23 年 7 月 1 日(金) には、管直人内閣総理大臣や、岡田克也民主党幹事長などに対して、「東日本大震災津波に 関する要望」を行いました。

また、平成23年7月23日(土)には、大畠国土交通大臣、津川国土交通大臣政務官、国土交通省の関係局長等が来県し、釜石港、三陸鉄道等の現地視察を行った後、県庁で知事と意見交換を行いました。本県からは、意見交換に併せて、「東日本大震災津波に関する要望(復興基本計画(案)に基づく重点要望)」を行い、大畠国土交通大臣からは、「湾口防波堤や復興道路、鉄道などを復興基盤として、大型予算となる国の第3次補正予算に盛り込みたい」との力強い発言がありました。

県では、被災地の早期復興のため、今後とも国に対して必要な要望等を行っていきます。

国土交通大臣 大畠 章宏 様

東日本大震災津波に関する要望書

平成23年7月23日

岩手系知事 建增铝色

国土交通省関係

岩手県東日本大震災津波復興計画 復興基本計画 (案) に基づく重点要望





「東日本大震災津波に関する要望(復興基本計画(案)に基づく重点要望)」の詳細は、こちらの県土整備部 HP をご覧ください! http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=4266&of=1&ik=3&pnp=66&pnp=4266&cd=33565



2 岩手県津波防災技術専門委員会の検討状況等

県では、東日本大震災からの復興に向け、被害状況等の詳細調査や技術的根拠等専門的な知見に基づく、津波対策の方向性、津波対策施設の整備目標や、地域の歴史や文化、産業等の地域特性を考慮した防災型の都市・地域づくりについて検討、提言をいただくため、「岩手県津波防災技術専門委員会(以下、「津波専門委員会」)」を設置し、議論を進めています。

これまでに4回の委員会を開催し、津波再現シミュレーション結果による現況施設の効果検証や、海岸保全施設の被災メカニズム、津波対策施設の整備目標の考え方等について検討を行い、検討結果については、6月9日に策定した「岩手県東日本大震災津波復興計画復興基本計画(案)」にも反映しています。

7月4日に開催した第4回津波専門委員会では、3タイプ5段階の「岩手県における 海岸保全施設の整備目標の考え方(案)」を示し、委員から概ねの了承が得られました。 また、この考え方(案)に基づいた個別地区(高田地区海岸(陸前高田市) 越喜来地 区海岸(大船渡市))の検討結果について委員から意見をいただき、今後、市や国等と調

8月9日には、第5回津波専門委員会を開催予定であり、野田地区海岸(野田村) 小本地区海岸(岩泉町) 片岸地区海岸(釜石市)の整備目標を検討する予定です。

その他の地区についても、今後の津波専門委員会で順次検討を行い、年内に整備目標を決定する予定です。

これまでの検討状況

第1回専門委員会 平成23年4月22日(金) 13:00~15:00

整を行いながら、最終的な整備目標を決定する予定としています。

- ・ 東日本大震災津波からの復興に向けた基本方針について
- ・ 被災状況の把握及び考察 など

第2回専門委員会 平成23年5月8日(日) 13:30~15:30

- ・ 今回の津波再現シミュレーション結果による現況施設の効果検証について
- ・ 津波対策施設の整備目標、防災型の都市・地域づくりの考え方について など 第3回専門委員会 平成23年5月23日(月)16:00~18:30
- ・ 津波再現シミュレーション結果による現況施設の効果検証について
- ・ 海岸保全施設の被災メカニズムについて
- ・ 岩手県における津波対策の方向性等の考え方(案)について など 第4回専門委員会 平成23年7月4日(月)13:30~17:30
- ・ 岩手県における海岸保全施設の整備目標の考え方(案)について
- ・ 個別地区における検討(高田地区海岸、越喜来地区海岸) など

「岩手県津波防災技術専門委員会」の検討状況の詳細は、こちらの県土整備部 HP をご覧ください! http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=4266&of=1&ik=3&pnp=66&pnp=4266&cd=33637



第4回 岩手県津波防災技術専門委員会資料より抜粋

岩手県における海岸保全施設の整備目標の考え方(案)

考え方の基本

(1)岩手県東日本大震災津波復興計画 復興基本計画(案)

海岸保全施設の整備は過去に発生した最大の津波高さを目標とするのが望ましい。しかし、 地形条件や社会・環境に与える影響、費用等の観点から、海岸保全施設のみによる対策は必ずし も現実的でない場合がある。この場合、過去に発生した津波等を地域ごとに検証し、概ね百数 十年で起こり得る津波高さを海岸保全施設の整備目標とする。

津波に対してはどのような場合でも避難することを基本とした上で、<u>概ね百数十年程度で起こり得る津波に対しては、防潮堤等のハード整備により生命と財産を確実に守る</u>とともに、<u>過去に発生した最大津波に対しては、ハード整備とソフト対策を組み合わせた多重防災型の考え方で生命を確実に守る。</u>

(2)中央防災会議「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」中間とりまとめに伴う提言

切迫性が低くても東北地方太平洋沖地震や最大クラスの津波を想定し、様々な施策を講じるよう検討していく必要がある。しかし、このような津波高に対して、海岸保全施設等の整備の対象とする津波高を大幅に高くすることは、施設整備に必要な費用、海岸の環境や利用に及ぼす影響などを考慮すると現実的ではない。このため、住民の避難を軸に、土地利用、避難施設、防災施設の整備などのハード・ソフトのとりうる手段を尽くした総合的な津波対策の確立が急務である。

海岸保全施設等は、人命保護に加え、住民財産の保護、地域の経済活動の安定化、効率的な 生産拠点の確保の観点から、<u>比較的頻度の高い一定程度の津波高に対して、引き続き整備を進</u> めていくことを基本とすべきである。

(3) 第2回海岸における津波対策検討委員会(国土交通省)

「対策が困難となることが見込まれる場合であっても、ためらうことなく想定地震・津波を 設定する必要がある」という考えのもと、「<u>基本的に二つのレベルの津波を想定</u>」

- ・頻度の高い津波:最大クラスの津波に比べて発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被 害をもたらす津波であり、構造物によって津波の内陸への侵入を防ぐ海岸保全施 設等の建設を行う上で想定する津波。
- ・最大クラスの津波:発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大ク ラスの津波であり、住民避難を柱とした総合的防災対策を構築する上で設定する 津波。



第4回 岩手県津波防災技術専門委員会資料より抜粋

考え方の流れ

1.検討の対象とする津波の痕跡高を整理する。

慶長三陸地震(1611)、明治三陸地震(1896)、昭和三陸地震(1933)、

昭和チリ地震(1960) 東日本大震災(2011)



2.地域ごとに検討対象津波を検証する。

上記対象津波(慶長三陸地震、昭和チリ地震を除く)について、<u>シミュレーションにより</u> 海岸保全施設がない場合の海岸線における津波の水位を再現する。

各対象津波の<u>再現計算水位及び宮城県沖連動地震津波の水位を比較</u>し、<u>既往最大津波及び</u> 既往第 2 位津波を選定する。



3.海岸保全施設の施設高を試算する。

既往最大津波を溢れさせないために必要となる海岸保全施設の施設高(H2)をシミュレーションにより試算する。

既往第2位津波を溢れさせないために必要となる海岸保全施設の施設高(H1)を同様に試 <u>第</u>する。

H2 と H1 に差が生じない場合は、H1 と現施設計画高 (H0) の間の任意の施設高 (H0.5) を設定する。



4.シミュレーションにより、海岸保全施設整備後の浸水範囲を試算する。

施設高 H 1 (あるいは H0.5)及び現施設計画高 (H 0)の<u>海岸保全施設整備後の、既往最</u> 大津波による浸水範囲のシミュレーションを行う。

施設高 H 1 の試算において<u>海岸保全施設の効果が小さく、背後の土地利用に大きな制約が生じる場合は、H 2 と H1 の間の任意の施設高(H1.5)を条件として浸水範囲のシミュレーション</u>を行う。





第4回 岩手県津波防災技術専門委員会資料より抜粋



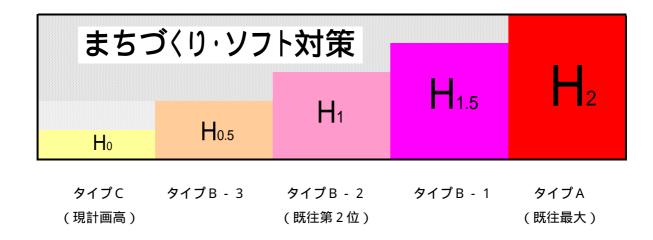
5. 整備目標の設定

タイプA 施設高 H 2 が実現可能と判断され、地域との合意が図られる場合、海岸保全施設の整備目標は施設高 H 2 とする。

タイプB 施設高 H 2 が現実的でないと判断される場合

- B 1 施設高 H 1 が実現可能と判断されるが、海岸保全施設の効果が小さく、背後の土地 利用に大きな制約が生じる場合、土地利用等との調整を図りながら、現実的と判断される範囲で海岸保全施設の整備目標は施設高 H1.5 とする。
- B 2 施設高 H 1 が実現可能と判断され、地域との合意が図られ、既往最大津波に対して も一定の効果が見られ一体的なまちづくりが可能となる場合、海岸保全施設の整備目 標は施設高 H1 とする。
- B 3 <u>施設高 H 1 が現実的でないと判断される場合</u>、海岸保全施設の<u>整備目標は施設高</u> <u>H0.5</u>をとする。
- タイプC 上記の検討の結果、<u>現施設計画高 H 0 以上の整備目標を設定することが困難と判断</u> され、地域との合意が図られる場合、海岸保全施設の整備目標は現施設計画高 H 0 とする。

小 < 津波の大きさ < 大





3 岩手県港湾復興会議の検討状況等

本県の各港湾は、東日本大震災津波により、湾口防波堤の倒壊、岸壁・護岸の沈下などの甚大な被害を受けました。県では、これら各港の今後の再生にあたっては、「新たな港づくり」の観点から、産業復興を支える物流機能のあり方や産業活動・まちづくりと連動した津波防災のあり方を検討した上で、将来を見据えた計画的な復旧・復興を行うことが重要と考えています。

このため、国、県、港湾所在市、港湾利用者等が協力して、各港湾の復旧・復興に向けた「復旧・復興方針」をつくることを目的に、県内4つの重要港湾に係る港湾復興会議を開催しています。

【港湾復興会議の構成員】

国、県、港湾所在市、関係機関(商工会議所、漁業協同組合等) 港湾利用企業等

【港湾復興会議の内容】

第 1 回 施設被害状況の情報共有 求められる港湾機能等の意見交換

第2回「復旧・復興方針」の検討

第3回 「復旧・復興方針」の策定

復興会議における主な意見(第2回まで)

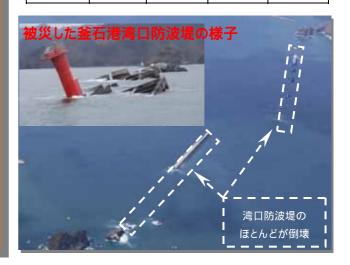
- ・湾口防波堤の早期復旧・整備促進
- ・岸壁、緑地、野積み場、上屋等の早期復旧
- ・海中障害物等の撤去
- ・地盤沈下への対応
- ・港湾機能の充実
- (耐震強化岸壁、津波漂流物対策、上屋、 SOLAS 区域の見直し等)
- ・避難対策の実施
- (避難路・避難場所の確保、陸閘・水門 の遠隔化、避難ビル建設への補助、情 報伝達等のソフト対策)
- ・民間保有港湾施設の復旧支援
- (荷役機械、専用岸壁、上屋など)

など



【港湾復興会議の開催状況】

	久慈港	宮古港	釜石港	大船渡港	
第 1 回	5/13	5/18	5/12	5/18	
第 2 回	6/29	7/1	6/30	6/30	
第3回(予定)	8/4	8/5	8/8	8/3	



いわて花巻空港 平行誘導路、旅客ターミナル増築が完成!

~ 花巻空港整備事業が完了 ~

空港課

平成 23 年 7 月 28 日 (木) いわて花巻空港の平行誘導路及び旅客ターミナル増築(国際線用チェックイン施設等)が完成し、平成 10 年度から整備を進めてきた花巻空港整備事業が完了しました。当日は、花巻空港整備事業完了記念式典を開催し、上野副知事をはじめ関係者約 60 人が出席、テープカットやくす玉割りなどにより、花巻空港整備事業の完了を祝いました。

今回の平行誘導路の完成により、大型機の就航が可能となることで渡航範囲の拡大につながるとともに、旅客ターミナルの増築により、国際線チェックインカウンター、出発手荷物捌所等を整備し、国内定期便と国際チャーター便を同一の時間帯で受け入れることが可能となります。

平行誘導路を使用する初の国際チャーター便は、日韓スポーツ交流で8月 16 日、22日に大韓航空A330(280人乗り)が運航される予定です。

県では、空港機能の向上について海外の航空会社にPRを行うなど、いわて花巻空港の利用促進に取り組んでいきます。





記念式典でのテープカット、〈す玉割り

増築した国際線用チェックインカウンター



第58回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 テレビドキュメント部門 優秀賞



~ 東日本大震災 復興祈念 ~

岩手県立御所湖広域公園

「東日本大震災 復興祈念植樹及び

手をつなごうタイムカプセル」のイベントを実施!!

盛岡広域振興局 土木部

復興を祈願して土かけ

平成23年6月26日(日)、地元の活動団体「ワイワイ手つなぎプロジェクト」が、御所湖広域公園町場地区園地において、復興祈念植樹とタイムカプセルへのメッセージ封入を行いました。

人との繋がりや未来への希望を大切にすることを目的として企画されたこのイベントには、当日はベトナムからの留学生ボランティアや、 岩手大学生、地元関係者など、約60名が参加しました。

それぞれが被災地の復興を祈願しながら、高さ 5.0 mを超える ヤマボウシの植樹を行いました。



【手をつなごうタイムカプセル】

盛岡市のつなぎ温泉などに宿泊された避難者や、復興支援関係者、地元関係者等が、10年後の自分や家族に宛てたメッセージをタイムカプセルに封入しました。メッセージは約130通で、タイムカプセルは盛岡手づくり村(盛岡地域地場産業振興センター)に常設展示され、10年後又は大々的な復興イベント時に開封する予定です。



~御所湖広域公園8月の見どころ ~



8月下旬にファミリーランドのひまわり畑にたたずむ宮沢賢治の像をご覧いただけます! 噴水も涼感たっぷりです!

ワイワイ手つなぎプロジェクト(団体の名称) 会員:小岩井農場、協同組合盛岡手づくり村、 つなぎ温泉観光協会



いわて花巻空港

FDA 名古屋小牧線 8 / 1 から毎日運航!!

~ "お得"な「いわて花巻 - 名古屋小牧線アクセスキャンペーン」を実施

空港課

いわて花巻空港では、平成 23 年 5 月 21 日から(株)フジドリームエアラインズ(FDA) による「いわて花巻 = 名古屋小牧線」が就航し、5 月 ~ 6 月は週 2 便又は週 3 便の運航でしたが、8 月 1 日以降は更に利用しやすく 1 日 1 往復の運航となります。

これを契機に、岩手県空港利用促進協議会では、"お得"な「いわて花巻空港 - 名古屋小牧アクセスキャンペーン」を実施することになりましたので、お知らせします。また、FDA でも、8月1日よりリピーターキャンペーンを実施しますので、併せてお知らせします。

ますます便利になったいわて花巻空港を是非ご利用ください!!





「いわて花巻 - 名古屋小牧アクセスキャンペーン」の詳細は、こちらの県土整備部 HP をご覧ください! http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=2169&ik=3&pnp=66&pnp=2156&pnp=2169







FDAU	ピーター	キャンペ	ーン応募	用紙 ※おままの付	特殊につきましては、何フジドリームエアラインズの DAホームページをご改璧ください。	プライパシーボリシーが適用されます。			
お名前:				FDAメンバ	√−ズID :				
ご住所: 〒				お電話番号	お電話番号:				
				ご年齢:					
アンケート	に <i>ご</i> 協力くだ	さい							
問1	ご搭乗の主な	は目的を下記よ	りお選び下さい	。(複数選択可)					
	□観光	□仕事	□帰省	□ 知人訪問	□ その他()			
問2	※問1にて「仕	上事」を選択さ	れた方にお伺い	します。					
	差し支えな! (ければ貴社名を	とご記入ください	١.)			
問3				します。 資料の送付をご希	望されますか?				
問4	出発空港まで	の主な交通手 電車	段は何ですか?		□ レンタカー				
	□ その他()			
問5	到着空港から	目的地までの	主な交通手段に	M-0251047 ubi 1	□ レンタカー				
	□ その他()			
期間 20	11年8月1日(月)~	-2012年3月24日	i(±)		424-8703 静岡県静岡市淯水区入船町1				
	「の運賃が対象となり *商品は対象外となり				k)フジドリームエアラインズ 「FDAキャン 012年4月6日(金) 浦印有効	ベーン争四月」知			
応募方法 応募用紙にFDAメンバーズの会員IDも含めた必要事項を明記し、搭乗券 5枚を開始の上、キャンペーン事務局へ郭遊にてお申し込みください。 ※搭乗券はすべて同一名義人のものに限ります。			東 帝	傾した搭乗券の返却はできかねますので 〇利用期間 2012年1月1					
1101		が期間内であれば、何度でもご応事できます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			Aについて 〇搭乗可能使 フジドリーム	エアラインズが運航する全ての便 ご本人が指名した二親等以内の方			